



学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校
令和5年10月6日(金)
第 4 号
〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地 1
電話 0155-55-2121
FAX 0155-55-2122

10年後、20年後の社会を見据えて

中札内高等養護学校幕別分校 教頭 高田博文

こんにちは。涼しい風が吹き、秋の訪れを感じる今日この頃、皆様におかれましてはますますお元気でお過ごしのことと存じます。秋は新たな学びの季節が始まるとともに、豊かな自然とともに学ぶ機会も増える季節です。生徒たちにとって、新たな発見と成長の時期となることを期待しております。また、保護者の皆様との連携が、子供たちの学びを支える大切な要素であることを改めて感じております。

さて、ここまで読んで、何か違和感を覚えましたか。実は上の文章は、チャット GPT で「秋に発行する学校だよりの文章」と命令し、AI が作成した文章なのです。なかなか良くできていると思いませんか。上の文章の後にも、今後の学校行事の話題に触れ、最後は「学校と保護者の皆様との連携を強化し、生徒たちがより素晴らしい学校生活を送れるよう努めてまいります。(中略)秋の季節が皆様にとって素晴らしい経験と成長の機会となりますよう、心より願っております。敬具」と結んでいます。お手本のような当たり障りのない文章、恐るべし AI。文章作成はこれから AI に頼もうかな(笑)。

冗談はさておき、AI の進化やロボット化によって世の中便利になってきていますが、10年、20年後には49%の仕事がなくなると予想する研究者もいます。確かに、以前行った飲食店では、注文はタブレット、会計は自動精算機でした。ロボットが料理を運んでくる店もありますし、だんだんと人間の仕事が奪われているのは事実です。時代によって職業は変化します。デパートのエレベーターガールはいなくなり、学校警備員は機械警備にとって代わりました。レジのセルフ化、車の自動運転化も進んでいます。

国もそのあたりはしっかりと考えていて、学校では今後の社会情勢を見据え、新しい時代を切り拓く人間を育成する教育プログラムになっています。幕別分校の生徒も、新時代を生き抜くことができるよう期待しています。私のような昭和の人間も、時代に取り残されないようにしなくてはと思う今日この頃です。

3 学年前提実習

今年度の前提実習は8月28日～9月29日の5週間行われ、3年生はスーパーや食品加工などの各企業に7名、福祉事業所に2名が実習に行ってきました。

どの職場でも、基本の挨拶や返事、報告、連絡、相談などが当たり前求められる、実践の場で試されています。実習を終えて自信になったことや新たな課題など、それぞれに学ぶことが多く、成長できた5週間でした。

今回、ご協力いただいた企業や福祉事業所の皆様、誠にありがとうございました。今後は残りの学校生活でさらに成長できるように頑張っていきます。

3 学年前提実習担当：松 橋



2 学年現場実習

2 学年は9月4日～9月15日の2週間、現場実習が行われました。今回は一人で実習に臨むということもあり、緊張した面持ちで実習が始まりました。

実習先は、食品加工業や清掃業、製造業、介護補助など、生徒に応じた事業所での実習となりました。実習先では、挨拶や返事などに加え、報告・連絡・相談など学校で学んだことを生かせるように取り組みました。

2 週間の実習を終えた生徒は、「仕事の大変さがわかった」「自分の課題がわかった」と感想を述べていました。3 年生では進路先を選択・決定する時期がやってきます。今回の実習の経験を生かして、自分の将来について更に考えを深めてほしいと思います。

今回の現場実習でご協力いただいた各事業所の皆様やサポートしていただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。今後も教職員一丸となり学習活動を通じて生徒の成長を支援していきます。本当にありがとうございました。

2 学年現場実習担当：山 下



1 学年現場実習

9月4日から15日までの2週間、1 学年現場実習が行われました。4グループに分かれて教師が引率し幕別町、帯広市の3つの事業所と幕別町援農協力会にご協力いただき町内の農家で実習を行うことができました。製品の出荷準備、ピッキング、除草や野菜の収穫・選別など学校では体験できない仕事を初めて「職場」という緊張感がある現場で試してきました。

また、例年にない暑さで、熱中症対策も考え2週間長時間働く経験をして、実習後は「疲れました」と言いながらも達成感に満ちた表情で振り返っていました。

ご協力いただいた事業所の皆様や保護者の皆様、ありがとうございました。

1 学年現場実習担当：長谷地

